

標的型って何型？^{A B O}

サイバーセキュリティ対策

すべての企業に届け！！

標的型攻撃ってなに？

うちには関係なくない？？

標的型攻撃とは



主に電子メールを用いて特定の組織や個人を狙う手法です。メール受信者の仕事に関係しそうなニセの話題等を含む本文や件名で騙し、添付ファイル（マルウェア）、URLリンクのクリックを促す場合が確認されています。添付ファイルやURLを実行（開いて）してしまうと、ウイルスに感染し、パソコン内の情報が漏えいする可能性があるだけでなく、パソコンが接続された企業・組織のネットワークにウイルスがばら撒かれ、企業・組織全体がセキュリティ上危険な状態になる可能性があります。



どうやつたら防げるの？何をすればいいの？

何よりも大切なのは、少しでも怪しいと感じたメール（タイトル、送信者、アドレス等）は開封しないことが大切です。開封した上で怪しいと感じたら、添付ファイルや URL リンクにはアクセスせず、破棄してください。
(業務や組織を騙っている、心当たりのない組織からのメール、など。)
また、取引先に対して本当にメールを送信されたかを確かめ合うことも大切です。
では、どんなメールがあやしいのでしょうか？

組織内で回覧しよう！見分け方は、裏面へ

図解！標的型攻撃メールの特徴

※ 下線部が疑わしいポイントです。注意して見逃さないようにしましょう。

差出人：松本商工会議所 情報事業部 <jyouhou@example.com>

件名：【重要】マイナンバー変更のお願い

添付：個人の番号漏洩確認リスト .docx

あなたはマイナンバーが漏えいしているという連絡がありました。

マイナンバーは安全管理措置を講じる義務があり、これを放置しますとマイナンバー法の違反となります。この場合、関係省庁からの調査が入る可能性があります。速やかな以下のウェブサイトにアクセスし、マイナンバーを変更手続きを行ってください。

12月31日までに変更が確認できない場合、法的措置を取ります。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/> <<http://www.cas.com/jp/seisaku/bangoseido/>>

松本商工会議所 情報事業部 <jyouhou@example.or.jp>

以下の特徴を持つメールは標的型攻撃メールの可能性が高い為、注意して対応してください。

件名・テーマ

- 知らない人からのメールだが、メール本文の URL や添付ファイルを開かざるを得ない内容（取材申込、クレームなど）
- 心当たりのないメールだが、興味をそそられる内容（議事録、演説原稿などの内部文書送付など）
- これまで届いた事の無い公的機関からのお知らせ（情報セキュリティに関する注意喚起、感染症流行情報など）
- 組織全体への案内（人事情報、新年度の事業方針、内部イベント情報など）
- 心当たりのない決裁や配送通知（航空券の予約確認、荷物の配送通知など。）
- ID やパスワード等の入力を要求するメール（メールボックス容量オーバーの警告、銀行からの登録情報確認など）
- 件名や本文に『緊急』『重要』『必ず確認』などの文言が入っている。

差出人及びメールアドレス

- フリーメールアドレス（上記例では『@example.com』）から送信されている。
- 差出人のメールアドレスと本文の署名に記載されたメールアドレスが異なる。
- 企業・公的機関などの場合、本来使用されないメールアドレスを使用している。（ドメインが違う、など）

本文

- 言い回しが不自然（文法がおかしい、など）、日本語では使用されない漢字（繁体字、等）が使われている。
- 実在する名称を一部に含む URL が記載されている。
- 表示されている URL と実際のリンク先の URL が異なる。HTML メールの場合、偽装が可能
- 署名の内容が誤っている。（名前が異なっている、存在しない部署となっている、など）

添付ファイル

- ファイルが添付されている。特に実行形式ファイル（exe / scr / cpl など）やショートカットファイル（lnk など）
- アイコンが偽装されている。（実行形式ファイルなのに文書ファイルのアイコンとなっている、など）
- ファイルの拡張子が偽装されている。（二重拡張子、空白文字の挿入、RLO の使用など）

さらにステップアップ！ サイバーセキュリティ対策に関しては以下のサイトをご活用ください

もしもの時の
バックアップ！

セキュリティ
機器の導入！

実践的な
メール訓練

特設サイト情報で収集

<https://www.mcci.jp/cybersecurity/>

